



# つつじが丘

教育目標 ゆたかなまなび たのしいなかま げんきなからだ  
重点目標 とともに高め合う 七谷っ子

加茂市立七谷小学校

学校より

令和3年3月26日

No. 468号

<http://www.ginzado.ne.jp/~7tnj-k/>

e-mail [k-7tnj@educet.plala.or.jp](mailto:k-7tnj@educet.plala.or.jp)

## 1年間のご支援・ご協力をありがとうございました

「学校は楽校」を掲げ、取り組んで参りました令和2年度の教育活動。変更や延期された行事もありましたが、無事に終了することができました。学習内容について、1学期、多少の遅れは見られましたが、年度末には全ての学年で予定されていた学習内容を終了することができました。地域・保護者の皆様からは、行事やクラブ、PTA活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

1年前、学校は休業中でした。新型コロナウイルス感染防止のためです。コロナウイルスはいまだに猛威を振るっていますが、子どもたちは新しい生活様式の基、元気に1年を過ごすことができました。

～終業式 「校長の話」より～

今年1年を振り返ると、やはり新型コロナウイルスの影響が大きい1年でした。学校が急に休みになることもあり、七谷っ子のみなさんが、その後の学校生活を安心して送ることができるのかとても心配でした。

安心してと言うのは2つ意味があります。

1つは、身体のこと、もう1つは心のことです。

身体は、コロナウイルスにかかって重い病気になったらどうしようかと言うこと、心は、学校に来なくなることによって心の元気がなくなってしまうのではないかと言うことです。

身体についてです。みなさんはバスに乗る時はマスクをし、学校に着いたらうがい手洗いをするなど、新しい生活習慣を身に付けました。すると、幸いなことに風邪やインフルエンザにかかる人も少なくなりました。みなさんは生活習慣という武器を手に入れたのです。生活習慣の大切さを改めて感じました。

心についてです。皆さんの様子を見ると、学校では元気に頑張っている姿がたくさんありました。きっとたくさんの思い出ができたことと思います。

～中略～

全校朝会でみなさんにいろんな話をしてきましたが、最後に伝えたいことは、「七谷小学校のよさを大切にしてほしい」ということです。伝統とも言えます。

みなさんが、学期末にアンケートで書いてくれた七谷のよさ、ベスト3を紹介したときがありました。

1つめ、元気なあいさつをしているところ

2つめ、誰かが困っていたら助けるところ

3つめ、6年生が優しいところ

本当にその通り、素晴らしい学校だと思います。4月になってみなさんは学年が1つ上がります。次の学年でも、伝統を大切に、うんとがんばってください。

新年度もおそらく状況は変わりません。しかし、一層1日1日を大切に過ごしていかなければと感じます。休業中も、うがい・手洗いをお願いします。4月、新しい出会いの中で、頑張る七谷っ子をよろしく願いいたします。

# 祝・加茂市立七谷小学校卒業証書授与式



13名の七谷っ子が、七谷小学校を巣立っていきました。

※校長式辞の一部です。

◇みなさんが最高学年となった令和二年度は、日本が、世界が新型コロナウイルスの出現により、大きな影響を受けた年でした。それは、この七谷小学校でも同じことでした。六年生のいない入学式に始まり、運動会や修学旅行はできるかどうか分からない、不安な一年が始まりました。そんな中、みなさんは自分たちにできることは何かを考え、一つずつしっかりと取り組んできました。みどりの仲間で行った委員会のイベントや全校チャレンジウォークでは、下の学年に目を配り、声をかける優しさを見せてくれました。「未来の町づくり」に取り組んだレインボータイムの学習は、地域の方々の心に元気を与えていました。そして、運動会における活躍は素晴らしく、応援団はもちろん、全員でより質の高いものを創り出そうとするリーダーシップを発揮してくれました。私が驚いたのは、実は運動会の後のことです。最後まで仕事を見つけては片付けに走り回っていた姿が忘れられません。コロナ渦の中、学校を明るく元気にしてくれるとともに、人のために行動できる学年でした。

～中略～

七谷小学校の校歌に「はばたく夢よ 白雲の 理想をめざし進みゆく」という一節があります。夢を叶えていくと言うことは、失敗の連続の先にあります。誰でも失敗したくありません。しかし、失敗したことの無い人などいません。この校歌は、挑戦するときには誰でも不安に感じるものだけど、失敗を恐れず、自分らしく羽ばたいていこうと歌っています。

みなさんは七谷小学校百二十一番目の卒業生です。十年後、二十年後、日本中や世界中に飛び立って活躍するときには、この歴史ある七谷小や七谷地区のすばらしさを語る人に、または、地元に残って地域を担う人、支える人、元気にする人になってほしいと願っています。皆さんのこれからの人生に、そして未来に、幸せがたくさん訪れることを願ひまして、私の式辞といたします。

○2年連続来賓をお招きできない卒業式となりました。元々は、納税者が多額の税を納めてくれたおかげで教師を雇い、校舎を維持し、安価な負担で給食を提供することができたことなどを報告する場も設定してあったようです。それ故、学校設置者の自治体の代表者や地域住民代表者を招き、子どもたちの成長した姿を見ていただきながら、教育活動の報告をしていました。

卒業生はもちろん、1年生から5年生まで、立派な姿の卒業式でした。地域に支えられ、育まれた七谷っ子は立派に成長した姿をみせてくれました。

## 子どもたちの活躍

第66回新潟県書き初め大会

準特選 2年生

第66回青少年読書感想文全国コンクール

入選賞 3年生

おめでとう!

3年生が書いた読書感想文が、新潟県の代表に選考され、全国で入賞しました。書いた感想文を紹介します。

僕にもできること

加茂市立七谷小学校3年

「プラスチックは土にかえらないから、環境を破壊するんだよ。」と僕のお父さんが言っていたので、僕は「どうやってプラスチックが環境を壊すんだろう。」と  
思い、この「ポリ袋、一枚、捨てた」を読んでみることにしました。

昔、アイサトさんの村ではヤシの葉であんだかごで物を運んでいて、壊れたらそのへんに捨てても土にかえていたと書いてありました。やしの葉は自然でできた物だから、落ち葉と同じでまた自然にかえるかなと思いました。

しかし、日に日に村人たちがいろいろな色のプラスチックやポリ袋を使うようになりました。それは、壊れやすくてやぶれたポリ袋は使えないので、地面にすてていたと書いてありました。きっとヤシの葉であんだかごと同じように、土にかえると思ったのかもしれない。

何日たってもそのまま、どんどんポリ袋がたまっていききました。みんなが捨てたポリ袋をやギたちがえさと一緒に食べてしまい生きられなくなりました。僕はそれを読んで、やぎは何も悪いことをしていないのに、人のせいで苦しんで生きられないのがとてもかわいそうだと思います。

アイサトさんが考えた「ポリ袋をリサイクルして、財布にする。」計画は、とても良いアイデアだと思いました。

それは今の「エコ」につながっていると思ったからです。スーパーでエコバックを使い、エコバックを持っていない人はお金を払ってレジ袋をもらいます。少

七谷小学校でのレインボータイム、4年生では「水」をテーマに環境を学習します。

七谷小学校の近くを流れている加茂川の近くに、もしかしたらビニル袋が落ちているかもしれません。日南人さんのように、一人一人が環境について、高い意識をもっていくことが大切です。4年生でも、さらに学習を深めてほしいです。



しでもレジ袋をへらしてゴミをへらすためだとお母さんに聞きました。ほかの国では、プラスチックのゴミを減らすために、ストローのかわりに竹を使っています。コップも竹を使っています。土にかえらないポリ袋やプラスチックにかわる竹や紙を使っても、使い捨てが直らないと自然を守ることはできません。アイサトさんのようにリサイクルできるものは何回も使い、ほかのものにかえたりすることは大切なことです。そしてポイ捨てしないことも同じように大切だと思います。

この本を読んで、ぼくが今できるエコ活動はなんだろうと考えました。まずどれがリサイクルできる物か、できない物かを調べてみようと思います。そして使い捨てのものをなるべく使わず洗って何回も使える物を使用するようにしたいです。ポイイスカウトでも、集会の時にマイカップを持っていきます。これもエコの一つなんだと思いました。ゴミを減らすことや物を大切にすることをたくさんの人に知ってもらいたいです。

ぼくは、このようなエコ活動やリサイクル行動で自然を守ってきれいな地球にしたいです。

## 4月の主な予定

6日(火) 新任式・始業式・入学式  
7日(水) 2年生以上給食開始  
8日(木) 1年生給食開始

11日(日) 資源回収  
15日(木) 1年生を迎える会  
23日(金) 学習参観 愛育会総会

## 今まで七谷っ子のためにご勤務いただき、ありがとうございました！

今年度末をもって5名の方が転退職されます。新天地でのご活躍を祈念しております。

<p><b>金塚 順子 加茂市立加茂小学校へ</b></p> <p>七谷の自然豊かな環境がとても心地よく、もっと七谷小学校にいたかったなあと思っています。いつも教室から見えるつつじが丘の景色に季節の移り変わりを感じながら、ゆったりとした気持ちで、子どもたちと共に学び、遊び、楽しく過ごすことができました。そして、たくさんの思い出を作ることができました。これも、地域の皆様、保護者の皆様のおかげです。6年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。</p>	<p><b>田口 真也 新潟市立早通南小学校へ</b></p> <p>あつという間でありながらも、充実した3年間でした。七谷の豊かな自然と元気で素直なかわいい子どもたち、そして、温かい地域の皆様に支えられながら、楽しく勤務することができました。4月からは別の学校での勤務となりますが、七谷小学校で学んだことを生かして、力を発揮していきたいと思えます。冬には娘たちを連れて冬鳥越でのスキーデビューを計画しています。その際はまた、よろしくお願ひします。</p>
<p><b>熊倉 夏実 南魚沼市立上関小学校へ</b></p> <p>自然豊かな校舎、明るくて素直な子どもたち、そして暖かく支えてくださった保護者・地域の皆様に囲まれて、とても幸せな3年間を過ごすことができました。大好きな七谷小学校を去るのは寂しいですが、初めて担任をした子どもたちと、一緒に去ることができるのは、何かの縁のように感じ、寂しさの中に少しの嬉しさも感じております。4月からは、七谷小学校で学んだことを生かし、教員4年生として気持ち新たに頑張ります。これまで本当にありがとうございました。</p> 	<p><b>泉田 茂 三条市立森町小学校へ</b></p> <p>一年間という短い期間でした。昨年四月に当校に赴任して驚いたことは、何と言っても、春の妖精(スプリングエフェメラル)と言われる花々でした。つつじが丘のカタクリの群生は目に焼き付き、生涯忘れ得ないと思えます。そのような純粋な自然が残る七谷は、最高の自然環境なのだと思います。今年度は新型コロナウイルスの影響で、学校行事が例年通りには実施できず、マスクや換気・消毒など、変則的な学校生活でしたが、日本中、全世界でも同じなので、いたしかたないことでした。そんな中でも、4名と人数は少ないですが、2年生の素直な子どもたちとの学校生活は、野菜の成長やアメリカザリガニの観察など、何かと日々忙しく、ふり返ってみれば、あつという間の一年間だったように思われます。粟ヶ岳に守られ育まれた「栄光の郷」七谷の子どもたちに、栄えあれ！と願っています。</p>
<p><b>大野 晴三 退職</b></p> <p>つつじが丘では、いろんな葉っぱを集める「ネイチャーゲーム」をしました。希望者なのに全員が集まってくれたのは、びっくりするやら嬉しいやら。ひょうたん池では珍しいサンショウウオがいました。子どもたちは当たり前のように捕まえていることにびっくり。キャベツの種を蒔き、葉っぱを育て、そこにモンシロチョウが卵を産みにやって来てくれました。やがて卵からアオムシになり、サナギになり、成虫になって、飛んでいきました。5年生ではメダカの卵からびっくりするほどたくさんの子メダカが誕生し、驚きました。命の尊さ、力強さを感じました。とても楽しく教員生活を送ることができました。これもひとえに、地域の方々、保護者の方々のご理解とご協力があつたればこそと、感謝申し上げます。これかどもの子供たちの活躍に期待します。大変有り難うございました。</p>	

### 6年生に授業をしました

6年生に2時間、卒業前の餞(はなむけ)授業をしました。

1時間は過去について、もう1時間は未来について考えました。

未来について考えたときのことで。

「アップルやグーグルなど、未来をつくっていく大企業がたくさんあるアメリカ・シリコンバレー。これらの企業で学ぶ人には、合言葉があります。〇〇にはどんな言葉が入りますか。漢字で2文字です。」

子どもたちからは、「団結」「検索」などいくつかの言葉が出ました。どちらかという、前向きな言葉が出されたのですが、答えはその逆。マイナス的な言葉です。すると、「失敗？」とつぶやく子がいました。正解です。その後、「ソサエティ 5.0 すぐその未来」の動画を視聴しました。

「動画のような未来がすぐそこに来ています。中学校に行っても、ぜひ、失敗してほしいと思えます。失敗し、何度も挑戦して夢をつかんでください。」

子どもたちは、「未来が楽しみです。」「失敗していいと言うことが分かりました。」と感想を書いていました。

**Fail fast.  
Fail often.**

**早く〇〇しろ！  
たくさん〇〇しろ！**